

# 補助金を活用して 横浜市で健康・快適な 省エネ住宅に住もう!!

断熱改修工事で  
最大 **267万円**

## CASE 1 子育て世帯の住替え 中古住宅を購入・省エネ住宅へ断熱改修し、住替え

補助金額 最大 **267万円!** (※)別途申請が必要です。  
対象要件等については各窓口にご確認ください。



30代子育て夫婦(市外在住)

横浜市既存住宅断熱改修補助 最大 <b>150万円</b> <b>市</b>	先進的窓リノベ2026事業 <b>100万円(※)</b> <b>国</b>	給湯省エネ2025事業 <b>17万円(※)</b> <b>国</b>
---	---	--

- ・外皮平均熱逓流率(UA値)が0.46W/m<sup>2</sup>・K以下の省エネ性能を有している
- ・耐震性能が確保されていること
- ・R8.4.1時点で18歳未満の子を有する世帯、またはいずれかが49歳以下である世帯の場合
- ・その他諸条件あり

## CASE 2 定住世帯 既存住宅を省エネ住宅へ断熱改修

補助金額 最大 **237万円!** (※)別途申請が必要です。  
対象要件等については各窓口にご確認ください。



70代夫婦(市内在住)

1 棟全体を断熱改修する場合		
横浜市既存住宅断熱改修補助 最大 <b>120万円</b> <b>市</b>	先進的窓リノベ2026事業 <b>100万円(※)</b> <b>国</b>	給湯省エネ2025事業 <b>17万円(※)</b> <b>国</b>
一部のエリアを断熱改修する場合		
横浜市既存住宅断熱改修補助 最大 <b>100万円</b> <b>市</b>	先進的窓リノベ2026事業 <b>100万円(※)</b> <b>国</b>	給湯省エネ2025事業 <b>17万円(※)</b> <b>国</b>

- ・外皮平均熱逓流率(UA値)が0.46W/m<sup>2</sup>・K以下の省エネ性能を有している
- ・耐震性能が確保されていること
- ・その他諸条件あり

高断熱・高气密な省エネ住宅にはこんなメリットが!!

夏は涼しく  
冬は暖かい

光熱費削減

窓の結露が  
少なくなる

ヒートショック対策  
健康にも効果あり

# 省エネ住宅 補助金 等 一覧

・横浜市が対象に含まれるものに限ります。  
 ・最新の状況や詳細については必ず各窓口にてご確認ください。

〈事業主体〉 □□ 国 □□□□ 横浜市 (同色の補助金は原則併用できません)

制度名	要件	補助額など	ホームページ・窓口
先進的窓リノベ 2026事業	ガラス交換、内窓設置、 外窓交換(カバー工法・はつり工法) ドア交換(カバー工法・はつり工法)	【補助上限額】 100万円/戸 (製品の性能とサイズにより補助額決定)	先進的窓リノベ2026事業 [TEL]0570-081-789
給湯省エネ2026事業	エコキュート、ハイブリッド給湯器、 エネファームの導入支援	【補助上限額】 エコキュート:7万円/台 ハイブリッド給湯器:10万円/台 エネファーム:17万円/台	給湯省エネ2026事業 [TEL]0570-081-789
横浜市 既存住宅断熱改修補助	【1棟断熱改修】 既存住宅の1棟全体の断熱等級6以上相当の断熱改修 【部分断熱改修】 既存住宅の一部のエリアの断熱等級6以上相当の断熱改修  ※対象の事業者は「よこはま健康・省エネ住宅事業者登録・公表制度」の登録事業者	【子育て世代の住替え】 最大150万円 【定住世帯・1棟断熱】 最大120万円 【定住世帯・部分断熱】 最大100万円	横浜市建築局 住宅政策課 [TEL] 045-671-2922
横浜市 空家を活用した子育て世代転入・定住促進補助金	市内の戸建空家を購入し転居する子育て世代に空家購入費の一部を補助 ※1年以上空家	【最大200万円】 【基礎額】100万円 【加算額】 市外からの転入:30万円 扶養する子が2人以上:40万円 3年以上空家:30万円	横浜市建築局 住宅政策課 [TEL] 045-671-4121
横浜市 木造住宅耐震改修補助	基礎の補強、筋かい(耐力壁)の補強、軽量化のための屋根のふき替え等により、耐震診断による点数が1.0以上となる耐震改修工事	【補助上限額】 115万円	横浜市建築局 建築防災課 [TEL]045-671-2943
横浜市 横浜グリーンエネルギーパートナーシップ事業	全世帯を対象とし、対象設備を市内の自宅(※V2Hのみ事業所も対象)に設置した、横浜市民の皆様に、キャッシュレスポイント等を還元	【支援額】※キャッシュレスポイント等 太陽光発電設備:最大6万円分/件 蓄電池:12万円分/件 エコキュート:2万円分/件 電気自動車:最大10万円分/件 燃料電池:3万円分/件 太陽熱利用システム:5万円分/件 V2H充放電設備:10万円分/件	脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課 [TEL]045-671-2661
横浜市 建築物開口部の不燃化改修工事費の補助	【エリア限定】 住宅の外壁の開口部について、以下両方の性能を有する開口部に改修する工事費を補助 ・両面20分以上の遮炎性能を有する防火設備 ・U値(熱貫流率)=2.3以下の断熱性能	【補助上限額】100万円 【補助率】 重点対策地域3/4 上記以外の補助対象地区2/3	都市整備局 防災まちづくり推進課 [TEL]045-671-3595
減税制度 横浜市 固定資産税・都市計画税の減額制度	窓改修工事【必須】、床・天井・壁断熱工事、太陽熱利用冷温熱装置、潜熱回収型給湯器、ヒートポンプ式給湯器、燃料電池コージェネレーションシステム、エアコンディショナー、太陽光発電設備の取替え・取付	120㎡相当分について1/3減額(認定長期優良住宅の場合2/3減額)	横浜市財政局 固定資産税課家屋担当 [TEL] 横浜市各区税務課家屋担当へお問合わせください。
金利優遇 5月上旬連携開始予定 【フラット35】地域連携	【対象者限定】 中古住宅の購入とあわせて、「横浜市既存住宅断熱改修補助制度」を利用することで、【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる	【金利引下げ幅】 5月上旬公表予定	住宅金融支援機構 [TEL] 0120-0860-35
認定制度 長期優良住宅認定制度	劣化性、耐震性、維持管理・更新の容易性、省エネ対策、住戸面積、居住環境への配慮、維持保全計画の評価基準を満たす住宅	住宅ローン、不動産取得税、登録免許税、固定資産税、贈与税などの控除額拡大・減税	横浜市建築局 建築企画課 [TEL] 045-671-4526

## 事業者登録制度

事業者 よこはま健康・省エネ住宅事業者登録・公表制度	最高レベルの断熱性能(等級6、7)や気密性能を備えた「省エネ性能の高い住宅」の設計又は施工に関する業務に一定の知見及び技術を有する事業者を登録・公表する制度	よこはま健康・省エネ住宅事業者登録・公表制度
-------------------------------	--	------------------------